

あきる野市

第23号

町・自連会報

発行／平成25年 8月31日 発行者／南 征夫 編集／あきる野市町内会・自治会連合会会報部会



町内会・自治会加入促進に向けて

あきる野市町内会・自治会連合会

会長 南 征夫

町内会・自治会員の皆様におかれましては、日頃、ご協力賜わり誠にありがとうございます。

本年度も各種団体の総会に数多くお招き頂き、今まで体験したことのないこともたくさん経験させて頂きました。

この中で、ごく普通の総会では有りますが、今年度六月二八日に行われた、西多摩の自治会・町内会連合会会長の総会のご紹介をさせて頂きました。

現在 住所に、西多摩郡を使っているのは、瑞穂町、日の出町、奥多摩町と檜原村になりましたが、町内会・自治会は、四市三町一村で西多摩連合会としての組織があります。会長は一年交代で持ち回ります。

昨年は瑞穂町が当番でした。定番どおり、事業・会計報告・計画・予算と進行了しました。

その後各地区の、自由発言による懇談会となり、まず始めにあきる野町内会・自治会音頭のCDを披露し、我々の

取り組みの話をしました。その後各地区からの話が有りましたが、加入者の減少、会長を引き受ける人がいない等々どこも悩みは同じでした。

以前は、防災訓練をしても、バケツリレーや、消火器の取扱い程度でしたが、この処の災害の規模は格段と大きくなっていきます。このような時こそ、昔に返って「向こう三軒両隣り、共存・共栄の心を理解していただくことが解決の早道であろう」が、結論でした。

あきる野町内会・自治会音頭完成 お披露目会

加入促進部会長

御手洗 泰弘

近年、あきる野市の世帯数は増加しているものの、町内会・自治会への加入数が少なく、市全体では五七パーセントと加入率は低い。そんな中、連合会加入促進部会では「あきる野町内会・自治会音頭」を企画制作し、「町内会・



25年度定期総会

◆ 平成二五年度あきる野市町内会・自治会連合会定期総会開催される

自治会各地区の納涼盆踊り大会」に、また、大勢の市民の皆様が集まる「あきる野夏祭りの流し踊り」に、この音頭を踊ってもらい、地域のコミュニティ活動と町内会・自治会に加入する必要性をPRし、加入率を高めて行きたい。

このような思いで、前年度から計画をして来た「あきる野町内会・自治会音頭」が作

詞作曲 伊奈在住の森下晴男さん、編曲 高橋一郎さん（高橋音楽事務所）、唄 植松しのぶさん（徳間ジャパン所属）、振付け 伊奈在住 五日市舞踊連盟会長の澤井志津子さんにより完成し、六月一日、あきる野ルピアホールに於いて関係者及び来賓をお迎えして、完成お披露目を開催しました。当日の出席者は

平成二五年度定期総会が四月二六日（金）にあきる野ルピア三階「ルピアホール」において、連合会会員八一名と、臼井孝あきる野市長はじめ多くの来賓の方々のご出席

を賜り盛大に開催されました。南連合会会長は挨拶の中で二四年度の事業運営総括と、自治会のあるべき姿の思いを熱く語られました。

続いて、須藤議長、前田副議長を選出、議事が進行されました。

平成二四年度事業・活動報告、決算報告、監査報告と二五年度事業・活動計画案、予算案等が審議され採決し全会一致で採択されました。

また、今年度の役員は会則第七条の規定により再任改選されました。

新年度の事業・活動計画に「高齢者への見守り活動に関すること」が新たに追加さ

各町内会長・自治会長を始め、毎年、夏祭りの流し踊りに参加している各団体代表者、音楽関係者及び来賓者の総勢百二十名が出席しました。

お披露目は第一部が式典で連合会長挨拶、来賓祝辞、感謝状の贈呈（森下さんと澤井さん）に続き「音頭」のお披露目が行なわれました。歌手の植松さんの唄に合わせ、

五日市並びに秋川舞踊連盟やあきる野商工会女性部の人達が踊りの輪をつくり会場を盛り上げました。

第二部の祝賀会では植松さんの歌謡ショーや森下さんのウクレレ、フルート奏者の村野直子さんの演奏も披露され、お披露目に花を添えていただきました。

れ、緊急時や災害時に援護が必要な高齢者などを対象に、救急医療情報キットの配布など一層の事業啓発を図ることが確認されました。

最後に連合会の目的である

町内会・自治会の自主性と民主的精神を尊重し、市民生活の向上と地域の福祉の増進と行政との協働により安全・安心な地域の構築を願って閉会しました。

平成二五年度新町内会長・自治会長

平成二五年四月から、次の六人の会長が新たに就任されました。

町内会・自治会	町内会長・自治会長
前田自治会	宮崎貴裕
ホームタウン秋川自治会	清水計善
原小宮町内会	唐澤清一
草花台パークハイツ町内会	弘田隆
草花住宅自治会	島岡秀行
ブリティッシュタウン自治会	伊藤満理子

町内会・自治会連合会 日帰り研修会

理事 吉野 清治

平成二五年二月二日（木）日帰り研修会が実施されました。好天にも恵まれ秋川地区二六名、五日市地区三一名で五七名の参加となり、情報交流の場と成りました。

古より「厄除け、厄払いのお大師様」として知られる川崎大師様にお参りし、あきる野市の平安と町内会・自治会連合会の更なる発展を祈願いたしました。

午後は川崎市内の朝日プリンテック川崎工場を見学しました。朝日新聞の二四ある工場のうち、朝刊七十万部、夕刊二八万部を印刷しており、最新の機械と徹底的にシステム化された行程にただただ驚くばかりでした。

毎日決まった時間に届く新聞は生活の一部ですが、それが形に成るまでの舞台裏を見学し、改めて新聞に対する視点が変わりました。

今後も幅広く見聞を深め、町内会・自治会の情報共有化の場になればと思います。

第二回「東京防災隣組」に認定される

西秋留地区防災・安心地域委員会 委員長 中村 勇

あきる野市地域防災計画が見直され、平成二十年十二月、七地域で各地域の特性に合った防災に関する取り組みを市と連携しながら地域住民が自主的に行う「防災・安心地域委員会」が発足しました。

西秋留地区防災・安心地域委員会は、地域防災力の強化とコミュニティの活性化を目的とし、町内会・自治会十団体、その他八団体により設立された自主防災組織です。地



域住民の価値観の相違や核家族化、少子高齢化、ライフスタイルの変化に伴う地域コミュニティの希薄化が進む中、防災の基本である「自助」と「共助」を地域住民に理解していただくことが重要と考えます。

平常時からの防災の学習、各機関と連携した防災訓練の実施により、地域住民自らの力で地域を守る体制づくりに取り組んでいます。

東京防災組織事業の趣旨である、災害時には地域住民同士が助け合う「共助」の取り組みが、大きな力を発揮します。向こう三軒両隣りをはじめとする地域のつながりを取り戻し、「共助」の取り組みを広げていくことを目的としている事業です。

東京防災隣組の認定を受け、防災普及事業への協力。

防災活動に関する情報・ノウハウが得られ一層の啓発が図られると考えております。

当委員会は、多種多様な団体との連帯による地域防災力とコミュニティ強化に向けた活動を一步一歩進めて行きたいと考えております。

「増戸地区防災の集い」実施報告

増戸地区防災・安心地域委員会 委員長 大久保 春彦

増戸地区防災・安心地域委員会では、五月十八日より増戸地区内四会場で「増戸地区防災の集い」を開催しました。

今回の集いは、地域の皆さんと共に、防災についての知識を広める事と、地域委員会の活動内容を周知する事を目的に開催したもので、四日間で二三八名の参加となりました。



防災教育DVD「地震や津波で死なないために」東京防災隣組DVD「自助、共助、そして近助」により、日頃災害に備え、心に刻む五つのことを自分の事として行動する事の重要性和、近所同士の助け合い・人間関係の重要性(近助の精神)を学びました。

又、地域委員会の活動報告について地域の方々に、自治会毎、団体毎に報告されていたが、委員会としての統一した活動報告は初めてであり、活動内容・今後の取組・課題等についてご理解をいただきました。

アンケートを出して下さった一八六名の中、九十%以上の方が今回の集いを評価して下さった事、集いに参加して気持ちを新たにされた方が八十%以上あった事等を今後に活かして活動していきたい。

増戸地区防災・安心地域委員会は地域の皆様と共に、防災意識を持ち続ける、日頃から災害に備える、自分の命は自分で守る、近所付き合いを深める、を合言葉に災害に負けない町づくりに努めます。

スポ・レク大会で 思わぬ成果

富士見台自治会

会長 石川 稔

五月に行なわれた市民スポーツ・レクリエーション大会には、富士見台自治会もごく普通にいつもどおり参加いたしました。

さて、競技種目の中で、常に悩んでいるのが町内会・自治会対抗リレーです。しかし、今回は思い切って男女混合種目(場合によっては当日選手が集まらず棄権を覚悟で)申し込みました。ところが若い家族会員が参加してく



自治会紹介

石原沢 - 里山の復活を求めて

軍道自治会 会長 栗原 陽

あきる野市の最も西方に位置する軍道自治会。山間地の自然豊かな小さな自治会ですが、高齢化が顕著で様々な課題を抱えています。

そんな中でも、平成22年から市の協力を得て「石原沢 景観整備一里山の復活」に積極的に取り組んでいます。

石原沢は、軍道集落から高明山・馬頭刈山へのハイキングコース上に位置する自然豊かな古道で、歴史的にも古く、戦国時代末期



にこの石原沢沿いに高明神社の参道とともに軍道集落が形成されてきました。今では、かすかに家屋や田畑の形跡だけが昔を偲ばせています。

この貴重な自然を後世に残すべく、これまで手を入れてこなかった所を開墾し、もみじ・アジサイ・シャクナゲ・玄海つつじ、などを植えてきました。

今後も、地域の特色を活かした植採やベンチの設置をし、地元住民だけでなく、あきる野市民の癒しの場になればと、さらなる景観整備と維持に自治会一丸となって努めていきます。

春から秋にかけて、せせらぎの音を聞き、足元の小さな野の花を探しながら多くの人に訪れてもらえればと思います。



れていたお陰により見事大会新記録で優勝することができました。

今年りはリレーで思わぬ成果を得られ、「参加してみるものだ」と共に「人材はこんな身近な所にいる」を実感いたしました。

勿論、リレー以外にも挑戦していますが、こちらは親睦目的達成で十分満足。終了後皆で勇敢な選手の労をねぎらいました。

地域の話題

青木平自治会 「やぶつばき」
(西青木平橋付近あきる野市保存樹木)

あきる野市保存樹木

樹木名	やぶつばき
指定番号	119
指定年月日	平成8年12月25日

あきる野市



役員会・全体会の協議事項

- 平成25年度
 - 四月二六日
 - 平成25年度定期総会 (会長以下七八名出席)
 - 五月十五日 (役員会)
 - 町内会・自治会音頭完成について
 - あきる野市コミュニティ事業交付金申請について
 - 各部会の報告
 - 市からの報告事項
 - △平成25年度事業計画について
 - △総合防災訓練(東京都と合同訓練)について
 - △スポーツ祭東京の応援看板等の配布について
 - 六月十九日 (役員会)
 - 全体会について
 - 各部会の報告
 - 市からの報告事項
 - △第六三回社会を明るくする運動について
 - 七月十六日 (全体会)
 - △民生・児童委員一斉改選について
 - 不動産協会の法律相談の開催について
 - 平成25年度東京都「地域の底力再生事業」申請事業の募集について
 - 第一回コミュニティ事業交付金交付状況について
 - 各部会の報告
 - 市からの報告事項
 - △第十一回夏まつり他ポスターの掲示について
 - △会員募集、福祉バザー等の協力について
 - △地域懇談会について
 - △ごみの分別の変更について
 - △防災ラジオの配布について
 - △敬老会補助金のお知らせ
- (注) ○印は、連合会協議事項
△印は、市からの報告事項

編集後記

梅雨明けと同時に連日の猛暑日で今年の夏が始まりました。町内会・自治会への加入促進を図るため制作された、町内会・自治会音頭が、各地区の納涼祭や夏祭りへ踊られ、その輪は大きく広がっています。町内会・自治会音頭の輪のよきに、町内会・自治会への加入者の広がりを願っています。夏休み最初の土曜日の晩、増戸小学校の六年生十八人が体育

館に一泊する宿泊訓練に参加しました。「ガンバルーム」と言う、ダンボールで間仕切りされた二畳程のスペースに二人づつ。三月十一日の夜、寒さと、恐怖と、悲しみと、絶望の中で、不安な一夜を過ごしていたのだらうとの思いを巡らせました。今なお、県外に避難し自宅に戻れない方が六万三千人余(六月現在)もいるそうです。一日も早い故郷への帰還をこ祈念いたします。(会報部会長 野崎 忠)